

# FireSIGHT システムで「Input/Output Error」メッセージが戻される

## 内容

[概要](#)

[症状](#)

[確認](#)

[解決方法](#)

## 概要

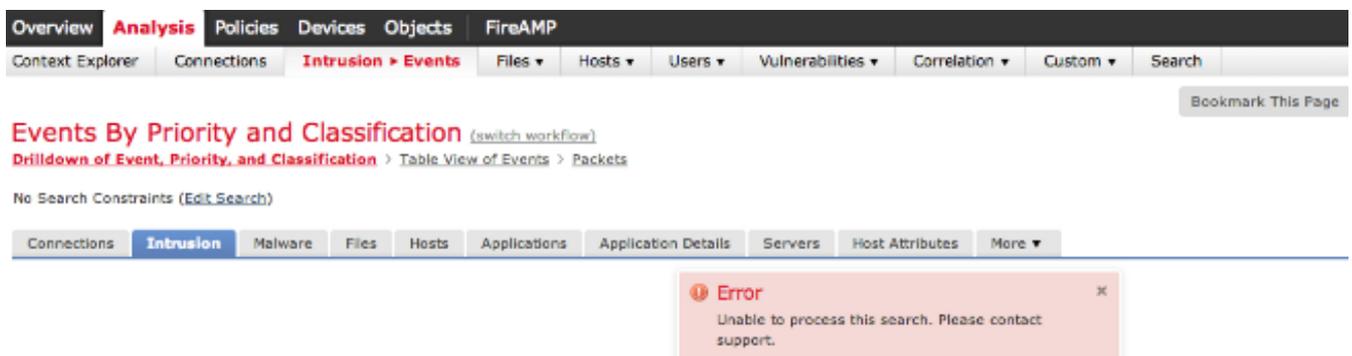
FireSIGHT システムでの作業中に、I/O Error または Input/Output Error のメッセージを受け取ることがあります。このドキュメントでは、この問題を調査する方法、およびトラブルシューティングする方法について説明します。

## 症状

- 侵入ポリシーを適用できない。[Task Status] に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

```
Could not create directory /var/tmp/PolicyExport_XXXX:  
Input/output error
```

- 侵入イベントのクエリが失敗する。検索結果には次のエラーが示される場合があります。



- Web ユーザ インターフェイスでヘルス モニタをロードできない。
- マネージド デバイスを表示できない。

## 確認

この問題を検証するには、次の手順に従ってください。

**ステップ 1:** セキュア シェル ( SSH ) を使って FireSIGHT システムに接続します。

**ステップ 2:** 権限をルート ユーザに昇格させます。

- FireSIGHT Management Center と FirePOWER アプライアンスで次のコマンドを実行します。

```
admin@FireSIGHT:~$ sudo su -root@FireSIGHT:~#
```

- FirePOWER アプライアンスで次のコマンドを実行します。

```
> expert
admin@FirePOWER:~$ sudo su -
root@FirePOWER:~#
```

**ステップ 3:** 次のコマンドを実行して、この問題を調査します。

- **dmesg** コマンドの出力に Input/Output Error が示される。以下に、いくつかの例を示します。

```
root@FireSIGHT:~# dmesg

-sh: /bin/dmesg: Input/output error
```

- **ls** コマンドが Input/Output Error を返す。以下に、いくつかの例を示します。

```
admin@FireSIGHT:~$ ls

ls: reading directory .: Input/output error
```

- **トラブルシュート ファイル** を生成しようとする、Input/Output Error が生成される。以下に、いくつかの例を示します。

```
admin@FireSIGHT:~$ sudo sf_troubleshoot.pl

/usr/local/sf/bin/sf_troubleshoot.pl: Input/output error
```

- **I/O error メッセージ** が、/var/log/messages にある。以下に、いくつかの例を示します。

```
admin@FireSIGHT:~$ grep -i error /var/log/messages

Sourcefire3D kernel: sd 2:2:0:0: scsi: Device offlined - not ready after error recovery
Sourcefire3D kernel: end_request: I/O error, dev sda, sector 1109804126
Sourcefire3D kernel: Buffer I/O error on device sda7, logical block 0
Sourcefire3D kernel: lost page write due to I/O error on sda7
Sourcefire3D kernel: Buffer I/O error on device sda7, logical block 137396224
Sourcefire3D kernel: lost page write due to I/O error on sda7
Sourcefire3D kernel: EXT2-fs error (device sda7): read_block_bitmap: Cannot read block
```

```
bitmap - block_group = 4208, block_bitmap = 13
```

- Input/Output Error が、/var/log/action\_queue.logにある。

```
Error in tempdir() using /var/tmp/PolicyExport_XXXXX: Could not create directory  
/var/tmp/PolicyExport_XXXX: Input/output error
```

## 解決方法

アップライアンスを正常に再起動させて、ファイルシステムチェックを実行します。

```
root@FireSIGHT:~# reboot
```

問題が解決しない場合は、アップライアンスを強制的に再起動します。

```
root@FireSIGHT:~# reboot -f
```

reboot -f コマンドを実行すると、FireSIGHT システムが再起動し、ファイルシステムチェックが実行されます。以下に、いくつかの例を示します。

```
/boot: 34/26104 files (29.4% non-contiguous), 48680/104388 blocks  
e2fsck 1.42.2 (27-Mar-2012)  
/Volume contains a file system with errors, check forced.  
Pass 1: Checking inodes, blocks, and sizes  
Inode 1036407, i_size is 14921607, should be 14929920. Fix? yes  
Inode 1036407, i_blocks is 29184, should be 29200. Fix? yes  
/Volume: |=====| | 37.4%
```

強制的に再起動しても引き続きこの問題が発生する場合は、シスコテクニカルサポートにご連絡ください。